



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社プラザホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 堤 俊之 TEL 03-3532-8812  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	12,894	△6.5	△217	-	△139	-	△220	-
2023年3月期第3四半期	13,797	△13.7	△218	-	△202	-	△279	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △215百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △319百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△91.27	-
2023年3月期第3四半期	△114.98	-

(注) 当社は2023年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	11,279	1,970	17.5	816.44
2023年3月期	11,681	2,310	19.8	956.51

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,970百万円 2023年3月期 2,310百万円

(注) 当社は2023年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2024年3月期	-	0.00	-		
2024年3月期（予想）				50.00	50.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2024年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合は10円00銭となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△5.9	130	41.4	150	25.8	50	—	20.70

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2023年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については当該株式併合の影響を考慮しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合の2024年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は4円14銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	2,767,251株	2023年3月期	2,767,251株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	353,402株	2023年3月期	351,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	2,415,358株	2023年3月期3Q	2,428,651株

（注）当社は、2023年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの5類への移行により、経済活動の正常化を背景に個人消費の増加や、インバウンド需要の回復など、景気は緩やかに回復の兆しを見せております。

一方、様々な地域における国際情勢の緊迫化による地政学的リスクの高まりや円安による物価上昇・原材料価格の高騰等により、経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような事業環境において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたイメージング事業の新たな収益の柱となる事業の創出に積極的に取り組んでまいりました。

モバイル事業においては、スマートフォンの値上がりによる買い替えサイクルが長期化しております。そのようななかで店舗外での販売イベントを積極的に実施し、販売台数を確保するとともに、イベントにかかる人員の内製化を進めることで販売費及び一般管理費を抑制しました。

前連結会計年度を通じて行った店舗の統廃合で店舗数が減少したことによる減収となりましたが、営業利益は改善しました。

また、店舗の在り方も見直し、スマートフォン以外の商材やサービスを提案したり、店舗内で高齢者向けにスマートフォンの使い方教室を開催するなど、販売後の利用サポートで地域に根付いた店舗作りに取り組んでおります。

なお、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、84店舗となっております（前連結会計年度末89店舗、前第3四半期連結累計期間末101店舗）。

デジタルデバイスと周辺ソリューションに対する企業の需要が増加していることを受けて、当社は法人営業部門のスタッフを増員しました。これにより、当社の店舗を訪れる法人顧客には、単に端末を販売するだけでなく、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を支援することが可能になりました。

以上の結果、モバイル事業の売上は減少しましたが、前期の損失から当期は利益に転換しました。

イメージング事業においては、「パレットプラザ」事業最大の商機である年賀状プリントは、Web年賀受付サービスを含む当社チェーン店全体の販売枚数は956万枚（既存店前年同期比85.53%）となりましたが、販売戦略の見直しにより、年賀状プリントの当社チェーン店全体売上高は前年同期比96.24%となりました。店頭での販売枚数が減少したことで、FCオーナー店舗での年賀状プリントの内製化率が高まり、当社グループへの製造委託枚数が減少し、FCオーナー向け年賀状プリントの卸売上高は減少しました。

なお、パレットプラザの店舗数は、当第3四半期連結累計期間末には、フランチャイズ店舗177店、直営店舗16店となりました（前連結会計年度末フランチャイズ店舗190店、直営店舗は22店、前第3四半期連結累計期間末フランチャイズ店舗222店、直営店舗は15店）。

グランピング事業においては、新しくオープンした「THE GLAMPING PLAZA 伊勢志摩BASE」は開業初期のため予定していた稼働率には若干届かなかったものの、既存の「THE GLAMPING PLAZA アルプスBASE」は予定どおりの稼働率を達成しました。ただし、これらの活動がまだ収益に大きく貢献している段階ではありません。

「One-Bo（ワンボ）」という“オンライン会議のための個室空間”パーソナル・ミーティング・ボックスの販売実績は、テレワークからオフィス出社へ回帰が進むなかでもオンライン会議が定着したことにより好調に推移しております。引き続き販売体制と製品増産体制の構築を強化してまいります。

前第3四半期連結累計期間末と比較して、パレットプラザのフランチャイズ店舗の減少に伴う卸売上高の減少、及び、新規事業（グランピング事業及びアパレル事業）で当第1四半期連結累計期間から発生した固定費を回収できなかったものの、パレットプラザ店頭値上げなどにより、イメージング事業の業績は、減収、赤字額の縮小となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、128億94百万円（前年同期比6.5%減）、営業損失2億17百万円（前年同期：営業損失2億18百万円）、経常損失1億39百万円（前年同期：経常損失2億2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億20百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失2億79百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①モバイル事業

当第3四半期連結累計期間のモバイル事業においては、前連結会計年度を通じて行った店舗の統廃合に伴う店舗数の減少などにより、売上高は104億27百万円（前年同期比7.5%減）、一方のセグメント利益は50百万円（前年同期：18百万円の損失）となりました。

②イメージング事業

当第3四半期連結累計期間のイメージング事業においては、店舗数の減少及び新規事業での当第1四半期連結累計期間から発生した固定費回収ができず、売上高は24億67百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント損益は2億61百万円の損失（前年同期：3億33百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は、112億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が1億31百万円、有形固定資産その他が1億66百万円、敷金及び保証金が77百万円、商品及び製品が75百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の額は、93億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金が5億67百万円、流動負債その他が2億51百万円増加し、長期借入金が3億90百万円、支払手形及び買掛金が3億28百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の額は、19億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億39百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失2億20百万円、配当金の支払額1億20百万円などにより利益剰余金が3億41百万円減少したことによるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の19.8%から17.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,172,613	1,212,574
受取手形及び売掛金	1,834,685	1,703,153
商品及び製品	2,406,858	2,331,412
原材料及び貯蔵品	216,841	269,429
その他	1,178,566	1,109,376
貸倒引当金	△18,058	△23,943
流動資産合計	6,791,507	6,602,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,218,582	2,210,247
減価償却累計額	△1,102,817	△1,108,103
建物及び構築物(純額)	1,115,764	1,102,143
機械装置及び運搬具	749,132	738,199
減価償却累計額	△657,473	△658,112
機械装置及び運搬具(純額)	91,659	80,087
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,208,969	1,181,741
減価償却累計額	△1,117,535	△1,105,834
リース資産(純額)	91,434	75,907
その他	1,002,854	860,315
減価償却累計額	△573,860	△597,656
その他(純額)	428,994	262,658
有形固定資産合計	3,239,102	3,032,045
無形固定資産		
のれん	121,586	85,163
リース資産	23	2
その他	161,572	157,468
無形固定資産合計	283,182	242,633
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,187,143	1,109,428
その他	192,701	305,207
貸倒引当金	△12,290	△12,290
投資その他の資産合計	1,367,555	1,402,346
固定資産合計	4,889,839	4,677,025
資産合計	11,681,346	11,279,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,518,767	1,190,076
短期借入金	3,180,803	3,748,503
リース債務	55,262	26,689
未払法人税等	5,694	4,270
賞与引当金	118,270	56,544
その他	695,650	947,575
流動負債合計	5,574,449	5,973,659
固定負債		
長期借入金	3,321,992	2,931,689
リース債務	76,229	58,139
資産除去債務	148,035	136,790
退職給付に係る負債	37,680	26,052
長期預り保証金	179,641	151,944
その他	32,668	30,002
固定負債合計	3,796,247	3,334,617
負債合計	9,370,697	9,308,277
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,511
利益剰余金	1,588,311	1,247,086
自己株式	△609,610	△613,595
株主資本合計	2,307,197	1,962,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,452	8,749
その他の包括利益累計額合計	3,452	8,749
純資産合計	2,310,649	1,970,752
負債純資産合計	11,681,346	11,279,029

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,797,421	12,894,985
売上原価	9,127,437	8,444,744
売上総利益	4,669,983	4,450,241
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	519,515	459,321
給料手当及び賞与	1,686,240	1,558,628
賞与引当金繰入額	60,276	56,137
雑給	115,145	126,707
賃借料	691,339	612,119
貸倒引当金繰入額	7,647	5,885
支払手数料	980,254	998,207
のれん償却額	50,362	36,422
その他	777,415	814,615
販売費及び一般管理費合計	4,888,197	4,668,045
営業損失(△)	△218,213	△217,804
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,370	4,092
協賛金収入	7,834	572
償却債権取立益	2,300	18,494
助成金収入	3,881	83,368
物品売却益	18,583	710
為替差益	14,590	—
その他	15,918	20,003
営業外収益合計	68,479	127,242
営業外費用		
支払利息	42,981	41,544
為替差損	—	6,771
その他	10,152	589
営業外費用合計	53,134	48,906
経常損失(△)	△202,867	△139,467
特別利益		
固定資産売却益	1,506	8,554
投資有価証券売却益	5,709	—
特別利益合計	7,216	8,554
特別損失		
減損損失	67,719	78,241
店舗閉鎖損失	5,196	8,869
投資有価証券評価損	—	1,003
解約違約金	9,000	—
特別損失合計	81,915	88,114
税金等調整前四半期純損失(△)	△277,566	△219,027
法人税、住民税及び事業税	4,670	4,270
法人税等調整額	△2,996	△2,858
法人税等合計	1,673	1,412
四半期純損失(△)	△279,240	△220,439
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△279,240	△220,439



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△279,240	△220,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,971	5,297
その他の包括利益合計	△39,971	5,297
四半期包括利益	△319,212	△215,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△319,212	△215,142
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,527,278	11,270,143	13,797,421	—	13,797,421
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,527,278	11,270,143	13,797,421	—	13,797,421
セグメント損失(△)	△333,253	△18,042	△351,296	133,082	△218,213

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額133,082千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△212,367千円及び当社とセグメントとの内部取引消去345,450千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において23,754千円、「モバイル事業」において43,964千円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,467,561	10,427,424	12,894,985	—	12,894,985
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,467,561	10,427,424	12,894,985	—	12,894,985
セグメント利益又は損失(△)	△261,106	50,016	△211,089	△6,714	△217,804

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,714千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△221,288千円及び当社とセグメントとの内部取引消去214,574千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において20,358千円、「モバイル事業」において57,882千円であります。